訪　問　記　録

レアメタル資源再生技術研究会

会　社　名	リサイクルテック・ジャパン株式会社	訪　問　日	平成 27 年 6 月 15 日(月)
訪　問　者	会長　藤田豊久、理事　岩田和也、理事　河邊憲次、事務局　菱川幸雄		
対　応　者	代表取締役社長　高取美樹 様、営業部 課長　森 義敦 様		
会社概要 企業データ	住　　所：名古屋市港区幸町一丁目 46 番地 1　　TEL：052-355-9888 代 表 者：代表取締役社長　高取美樹　　FAX：052-355-9887 資 本 金：7751 万 8500 円（平成 26 年 3 月現在） 従業員数：260 名 H　　P：http://www.r-t-j.co.jp/		
事業概要	リサイクルテック・ジャパンは、遊技機のリサイクル・リユース事業に取り組み、ソーラーパネルや液晶パネルガラスのリサイクルにも取り組む。そして、多種類の部品を素材ごとに効率よく解体回収するため、徹底した手解体を基本とした解体手順方法、合理的なリサイクルシステムを確立する。 リサイクル・リユースの「質」を上げる技術を進化させ、マテリアルリサイクルから部品リユースへの展開、さらには部品のメンテナンス・アッセンブリを対応可能とする部品再生工場へと進化させていく。		
会長の訪問後記	名古屋地区はパチンコ台製造会社が日本で最も多く、パチンコ台のリユースおよびリサイクルを行っている大手のリサイクルテック・ジャパン㈱を訪問した。パチンコ台のリユースおよびリサイクルを見学したが、パチンコ台関係の監督官庁は経産省や環境省ではなく、警察庁である。パチンコ産業の市場規模は近年減少してきたが、現在、約 18 兆円/年の売り上げがある。このパチンコ台の価格は 1 台約 40 万円であるが、部品のリユースにより 10 万円台が可能となった。台の交換は数ヶ月であり、部品の再利用は重要である。部品は高価なものが多く、リユースとして台を制御する ROM は情報消去後使用でき、また、制御モジュール、液晶パネル、玉の検知器など多くの部品のリユースが可能である。プラスチックのＰＣやＡＢＳはシールなどの装飾部や釘をとるとプラスチック板としてリサイクル使用ができる。釘をはずす専用の機械も使用する。高価な部品のリユースは手解体が可能で、多くの雇用を生み出していることが注目される。今後のご発展を期待し、見学させて頂いたことを深謝する。 		